

第42回原子力総合シンポジウム・プログラム
2004 National Symposium on Atomic Energy, Tokyo, Japan

主調テーマ:

「原子力は、社会への説明責任をいかに果たすべきか」

日時 2004年5月27日(木)～28日(金) 10:00～17:00

会場 千代田区立内幸町ホール (東京都千代田区内幸町1-5-1)

開催趣旨 原子力関連学協会の共同主催により、21世紀を迎えてますます重要になりつつある地球環境の維持・保全を考えたエネルギーの安定供給のあり方について、学界－産業界の各専門分野の研究者－技術者間の情報の交換・普及を図ると共に、単に専門家のみならず、一般の人々をも対象にして、エネルギー問題の現状と将来の展望を考え、人類と地球環境が直面している問題点を明らかにし、共通の理解を深めるため、本シンポジウムを開催する。

5月27日(木)

午前の部

(敬称略)

開会の辞 10:00～
挨拶

運営委員長 班目春樹
日本原子力学会会長 齋藤伸三

1. 「安全・安心」(10:15～12:30)

司会: 宅間正夫 ((社)日本原子力産業会議 専務理事)

(1) 「安全目標策定へのステップ」(45分)

松浦 祥次郎 (原子力安全委員会 委員長)

(2) 「安心の探求」(45分)

糸魚川 直祐 ((株)原子力安全システム研究所 社会システム研究所長
武庫川女子大学文学部長・教授)

(3) 「安全で安心な世界と社会の構築」(45分)

広渡清吾 (東京大学社会科学研究所 教授、日本学術会議会員・第2部長)

—— 昼 休 (12:30～13:30) ——

5月27日(木)

午後の部

2. 「説明責任」(13:30～15:00)

司会: 松岡伸吾 (日本原燃(株) 取締役 安全技術室担当)

(1) 「原子力規制行政の信頼回復に向けて — 規制者の説明責任 — 」(30分)

片山 正一郎 (原子力安全・保安院 実用発電用原子炉担当 審議官)

(2) 「電気事業者の説明責任」(30分)

佐竹 誠 (東京電力(株) 取締役 原子力本部副本部長)

(3) 「学会における標準策定と役割」(30分)

宮野 廣 (日本原子力学会標準委員会委員長)

東芝プラントシステム(株) 執行役員 技術企画部長)

————— 休 憩 (15:00~15:10) —————

3. 「情報開示と共有」(15:10~16:55)

司会：福田 研二 (九州大学大学院工学研究院 教授)

(1) 「マスコミから見た情報開示」(45分)

中村 政雄 (科学ジャーナリスト)

(2) 「高レベル放射性廃棄物処分と社会」(30分)

竹内 舜哉 (原子力発電環境整備機構 理事)

(3) 「原爆後障害医療研究における情報公開・説明責任」(30分)

朝長 万左男 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 附属原爆後障害医療研究施設長)

分子医療部門分子治療分野(原研内科) 教授)

5月28日(金)

午前の部

4. 「リスク・コミュニケーション」(10:00~12:00)

司会：相澤 清人 (核燃料サイクル開発機構 特別技術参与)

(1) 「リスクコミュニケーションの課題」(40分)

関澤 純 (徳島大学総合科学部 教授)

食品安全委員会リスク・コミュニケーション専門調査会座長)

(2) 「科学技術情報はなぜ伝わりにくいか。～リスクコミュニケーションにおける専門家の課題～」(40分)

土屋 智子 ((財)電力中央研究所 経済社会研究所 上席研究員)

(3) 「ネット時代のリスクコミュニケーション」(40分)

古田 一雄 (東京大学大学院工学系研究科 教授)

————— 昼 休 (12:00~13:00) —————

5月28日(金)

午後の部

5. 「未来への責任」(13:00~16:50)

司会：田川精一(大阪大学産業科学研究所 教授) (13:00~14:55)

(1) 「原子力政策における学会への期待」(45分) 近藤駿介(原子力委員会 委員長)

(2) 「がん治療における重粒子線の効果と可能性」(35分)
辻井博彦((独)放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター長)

(3) 「文化研究への取り組み — 年代測定とその課題」(35分)
今村峯雄(人間文化研究機構・国立歴史民俗博物館 教授)

————— 休 憩 (14:55~15:05) —————

司会：班目春樹(東京大学原子力研究総合センター 教授) (15:05~16:50)

(4) 「持続的社會と放射線利用 — 国際的視点から —」(35分) 町末男(原子力委員会 委員)

(5) 「地域発展への福井大学の積極的な取り組み」(35分) 児嶋眞平(福井大学 学長)

(6) 「21世紀のエネルギー環境社會の構築に向けて
~ 次代へのメッセージとその実現に向けての提言 ~」(35分)
柘植綾夫(三菱重工業㈱ 常務取締役 技術本部長)

○参加費および参加登録(参加費には予稿集1冊含まれます)

共催学協会会員 5,000円

一般 6,000円

学生 無料(予稿集は実費頒布)

※当日、会場で申し受けます。事前登録は必要ありません。

○予稿集(A4判オフセット印刷)

予稿集のみ購入ご希望の方は1冊2,000円(税込)、送料300円で実費頒布いたします。

○問い合わせ先 「原子力総合シンポジウム運営委員会」事務局

〒105-0004 東京都港区新橋2-3-7 新橋第二中ビル3F

(社)日本原子力学会内

TEL. 03-3508-1261, FAX. 03-3581-6128

郵便振替口座 00130-5-55932(加入者名：(社)日本原子力学会)

E-mail: symposium@aesj.or.jp ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesj/>

共 同 主 催

(39学協会 50音順)

エネルギー・資源学会	(社)化学工学会	(社)火力原子力発電技術協会
(社)空気調和・衛生工学会	(社)計測自動制御学会	(財)原子力安全研究協会
(社)資源・素材学会	(社)電気化学学会	(社)電気学会
(社)土木学会	(社)日本アイソトープ協会	(社)日本医学放射線学会
(社)日本化学会	日本核医学会	(社)日本機械学会
(社)日本空気清浄協会	(社)日本原子力学会	(社)日本建築学会
(社)日本高圧力技術協会	日本混相流学会	日本シミュレーション学会
(社)日本セラミックス協会	(社)日本造船学会	日本地球化学会
日本地質学会	(社)日本電気協会	(社)日本非破壊検査協会
日本複合材料学会	(社)日本分析化学会	日本放射化学会
日本放射線影響学会	(社)日本放射線技術学会	日本保健物理学会
(社)日本溶接協会	(社)日本流体力学会	(社)粉体粉末冶金協会
(社)プラズマ・核融合学会	(社)溶接学会	(社)レーザー学会

後 援 機 関

原子力委員会	原子力安全委員会	日本学術会議
日本原子力研究所	核燃料サイクル開発機構	(社)日本原子力産業会議
(財)日本原子力文化振興財団		

「第42回原子力総合シンポジウム」運営委員会

(学協会名50音順・敬称略。◎は委員長)

(エネルギー・資源)	——	(化学工学) 松本史朗	(電気協)	——
(空調・衛生)	——	(計測自動制御) 川嶋健嗣	(原安協)	石川秀高
(資源・素材)	——	(電気化学) 渡邊正義	(電気)	中沢正治
(土木)	——	(RI協) 北原明治	(医学放射線)	——
(化学) 太田暉人		(核医学) 竹田寛	(機械)	木倉宏成
(空気清浄協)	——	◎(原子力) 班目春樹	(原子力)	福田研二
(原子力) 相澤清人		(原子力) 田川精一	(原子力)	松岡伸吾
(建築) 山本幹夫		(高圧力協) 朝田泰英	(混相流)	——
(シミュレーション) 矢川元基		(セラミックス協)	——	(造船) 野本敏治
(地球化学) 木多紀子		(地質)	——	(電気協)
(非破壊協) 大岡紀一		(複合材料)	——	(分析化学) 粟袋佳孝
(放射化学)	——	(放射線影響) 島田義也		(放射線技術) 小野口昌久
(保健物理) 吉川進		(溶接協) 矢川元基		(流体力)
(粉体粉末協)	——	(プラズマ) 岡野邦彦		(溶接)
(レーザー) 今崎一夫				西本和俊